

キュックリヒ先生のアルバムから（1）

テレビ出演



1964年（昭和39年）6月15日、日本テレビで当時放映されていた「婦人ニュース」に出演することとなり、「在日40年・愛の泉ここに湧く」を撮影中のキュックリヒ先生です。

同年6月19日の読売新聞には、番組を「見て、日本の主婦として非常に感激もし、また恥ずかしさを感じた。四十年にわたるこのドイツの老婦人が日本人以上の苦しい生活や悩みを超えて恵まれない人々に対する献身的な愛の奉仕を続け、しかも日本に骨をうずめる覚悟とっておられるのをきいてあまりに現在のぜいたくな生活になれた私たち日本人が恥ずかしくて反省させられた。（東京都大田区・徳永律子（三〇）主婦）」という投書が「放送塔」に寄せられています。

この年、キュックリヒ先生は66歳。愛の泉第3代理事長に就任されて2年目を迎え、法人運営に多忙な日々を過ごしておられました。これまでの都内の短大や専門学校での講義に加え、翌年クラーク学園の和泉短期大学が認可された場合には、保育学の教授に就任することも内諾していました。

そのような中、4月に勲四等瑞宝章を受けられ、11月には、当時の皇太子殿下夫妻（現上皇陛下）の訪問を受けるなど、先生の働きが日本中に広く知られるようになっていったのもこの年でした。

なおキュックリヒ先生の他のテレビ出演の映像は、『キュックリッヒ・ママの足取り』（第1部「ここに鐘は鳴る」、第2部「ある人生 キュックリッヒ先生の祈り」）キュックリッヒ記念財団 2013年にまとめられています。